



## 外部講師を招いた特別授業(道徳科)



外部講師による授業は、生徒の関心や意欲を喚起して学習の内容を印象づけたり、専門的な知識・技能に触れることができたりします。このような効果があることから、明光中学校では、外部講師を招いた特別授業を積極的に実施していきます。

6月13日(月)、いばらきスクールサポート事業講師である大塚 美由紀 先生を招いた「いのちのコンサート」と題した特別授業(道徳科)を、全学年対象に実施しました。

### 「いのちのコンサート」 大塚 美由紀 先生

「今日は、犬と猫の命についてお話します。そこから、自分や周りの人の命についても考えてほしいです。」という大塚先生のお言葉から講演はスタートしました。スライドとピアノ演奏を組み合わせた「動物愛護から命について考える」講演でした。

始めに、「いぬをかうって、どうのことだろう」と題して、ご自身が捨てられていた子犬を保護し、息を引き取るまでの十数年間世話した体験を話されました。「ペットだって心がある。ペットを飼うときには、年をとってもどうか最後まで世話をしてください。」と生徒に呼びかけました。

次に、「ほしぞらのねこ」と題して、捨てられていた猫を保護したとき、外での生活が長かったことで病気にかかり早くに亡くなってしまったことを話され、「僕は星となった。僕の家族となってくれてありがとう。人間を信じられるようになった。」と亡くなった猫の気持ちをスライドとピアノ演奏で表現されました。

最後に、「にじのはし」と題して、「ペットが飼い主を思う強い気持ちを感じてください」と生徒に呼び掛けながら、動物が、亡くなった後の世界で幸せに暮らしている様子を、空に広がる虹を描いたスライドと静かなピアノ演奏で表現し、生徒の心に響く講演となりました。



### 生徒の感想



#### 3年4組 M.O

今回の講演会で、改めて動物の命や大切さを学ぶことができました。動物を飼うときは、「かわいい」という理由だけで飼ってしまうのではなく、ちゃんとその動物について知って理解した上で飼えるのかどうかを家族で話し合うことが必要だなと思いました。また、スライドと一緒に流れていくピアノも、とても感動しました。スライドだけでも、動物の気持ちや飼い主の気持ちがよく分かるのに、そこにピアノの音色も加わることによって情景や雰囲気などの細々としたストーリーが伝わってきて、涙があふれそうでした。私もペットを飼っているので1つ1つのストーリーに入り込んでしまって、あつという間の時間ですごく勉強になりました。これからは、今日、学ばせていただいたことを常に頭に入れてながら動物はもちろん、人にも優しく感謝の心を持ち、接していけたらいいなと思います。

#### 2年2組 T.I

本日は本当にありがとうございました。私は、犬と猫を一匹ずつ飼っているのですが、どちらも10歳を過ぎた老犬老猫になってしまいました。中学校に入って、最近あまり遊んであげられなくなっているのが、今回の「いのちのコンサート」を聞いて、思わず会いに行きたくなるほど、飼っているペットたちが心配になりました。そして、もう残りわずかであろう命を大切に、最後まで一緒にいて、かわいいがってあげられれば良いなと思いました。また、今回の話を聞いて、私の夢である獣医の夢に対する気持ちもより強くなり、もっとたくさん勉強し、夢を実現し、動物を助けられる人になりたいと思いました。ピアノの演奏もとてもすてきで聞き入れることが出来ました。本当にありがとうございました。

#### 1年2組 N.R

お忙しい中、「いのちのコンサート」を開いていただき、ありがとうございます。動物の命の大切さを、ペットのことを改めて考えるきっかけになりました。すてきなピアノの音色を聞きながら、スクリーンに映っているお話を見ていると、自然に涙がでてきました。わたしは猫を飼っています。その子が、最後まで幸せに暮らせるように、その子の気持ちを考えながら愛し続けたいと思います。今回は、捨てられてしまった猫や犬がたくさんいること、ペットの大切さを学びました。これから、悲しい思いをしている動物たちが増えないように、私にできることを考えていきたいです。